

東北森林管理局

山形森林管理署 もがみ支署通信

10月は、たくさんのイベントがありました

15日 一貫作業システム現地検討会

山形県最上総合支庁との共催で戸沢村内の国有林野にて行われ、林業事業体等や県立農林大学校などから計71名が参加しました。

伐採と再造林を同時期に行う一貫作業システムを参加者一同で視察して、重機を多目的に使用し、植栽適期の長いコンテナ苗を活用する低コスト化林業の利点を、改めて認識しました。



開会 中央の箱はコンテナ苗



農林大学校学生の植付体験



生産現場を安全点検



支署長の総評

28日 労働災害防止意見交換会

新庄労働基準監督署と林業・木材製造業労働災害防止協会山形県支部との共催。各林業事業体等の計43名が参加し、生産(真室川町内)造林(鮭川村内)に分かれての巡回安全点検の後、真室川町内で労働基準監督官による安全指導、点検結果報告が行われました。一同、労働災害の撲滅への決意を新たにしました。

13日 「塩根川学校の森」の森づくりに参加

飯山探究会の主催により、真室川町鏡沢地区にて子供会を中心に保護者等を含め16人(当支署職員2名含む)が参加して、広葉樹の植樹、木工工作、森の中でのピザ作りなどを体験しました。当支署では植樹の補助を行いました。参加者一同、自然を満喫し満足げの表情でした。



植樹体験 唐鍬(とぐわ)は重い



貯金箱作ってお小遣い貯めよう



19・20日 第29回山形県林業まつりに出展

山形県林業まつり実行委員会により山形県総合運動公園(天童市)にて開催されました。当支署も延べ10人が参加し、パネルによる森林環境教育と巣箱づくり体験のサポートを行いました。

小鳥の入居?を期待した子供たちは、完成した巣箱を大事に持って保護者に手を引かれ、次の目当てのブースに向かっていきました。

木の温もりと自然の大切さを学ぶ催しにはお客さんが途切れることなく、大盛況でした。



上左: オプニングは丸太切り 上右: 森林の大切さを学びます

下左: スギの香が漂いそう 下右: “怪獣”君もハンマーを



山形森林管理署 最上支署

TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11

